令和6年度第1回城東区教育会議 議事要旨			
日時	令和6年7月24日(水)19時～20時30分	場所	城東区役所3階312・313会議室
出席者	教育会議委員、区内小中学校幹事校長 城東区長、城東区副区長、子育て教育担当課長、子育て教育担当課長代理		
内 容			
報告案件	<p>[主な質問と区の見解] ○:委員、●:区長、オブザーバー</p> <p>【城東区教育関係事業の令和5年度実績及び令和6年度の現況について】 【令和6年度城東区教育・子育て支援関係事業一覧】</p> <p>○SSRが小学校についても今年度から開設されるということで、更生保護女性会として何か手伝えることがないかという案が出た。サポートという形でも良いので、何か協力できたらと思っている。</p> <p>⇒●貴重なお申し出ありがとうございます。中学生と小学生では大人側からの対応の仕方なども異なると実感している。更生保護女性会の方々は朝のあいさつ運動など、これまでも様々な協力をいただいております。今回のお申し出も非常に心強く、また嬉しく思っています。具体的にどのようなことがお願いできるかについて、今後学校とも協議して検討させていただく。(区長)</p> <p>⇒●スクールサポートルームでは、誰が支援するかという「人」がすごく大事であり、子どもたちに何が必要か、どのような支援が必要かということをコーディネートするような役割が求められている。子どもたちは思わぬことにつまづき、その時にどんな声をだせばよいか、どういった表情をすればよいか分からない。そういった時に、ほっとできるような声かけ、接し方が大事であり、それは教師でないとできないということではない。身近な方が関わっていただけることは本当にありがたいことなので、現場としては是非お願いしたい。(オブザーバー)</p> <p>○JOTO 塾について途中退会者が21名というのは、全体の利用者数から見ると多いように感じるが、どうなのか。</p> <p>⇒●JOTO 塾については、基礎的な内容や学校の授業の補修的な部分が多いため、理解が進んでいけばより難易度の高い講義を求めて、他の学習塾などの移るといったことが考えられる。</p> <p>一方で、何年も定着しているケースもあり、入れ替りもあるが、令和6年度は各会場とも定員に近い人数が利用している。(課長代理)</p> <p>⇒●基本的には、基礎学力の向上と学習習慣の定着が大切だと思うが、親から言われて参加することになったが、中々続かないケースも多い。</p> <p>些細なつまづきがあった時、大人の声掛けなどによってハードルを超えられることもあるため、これからも検証を重ねながら改善していくことが必要。(オブザーバー)</p> <p>○退会者21名は多いように感じるので、分析が必要だと思う。利用者へのアンケートはしているのか。</p> <p>⇒●利用者へアンケートは実施しているが、退会理由をたずねるものは無いため、今後検討する。(課長代理)</p> <p>○発達障がいなどにより、友だちと見え方や捉え方が違うことによってトラブルになるというケースがあると聞いた。各事業の中で、そういった子どもたちのケアについて心がけていることはあるか。</p>		

	<p>⇒●就学前のお子さまの発達についての相談を区役所でも行っており、保護者の心配事なども含めて相談は多く寄せられている。(課長代理)</p> <p>⇒●基本はまず学習の定着に重きを置き、理解度が上がっていけば、よりステップアップを目ざす形になるかと思う。特に小学生は、同じ学年であっても発達段階に幅があるので、こどもに応じてより寄り添った形での対応をしていただければありがたいと感じている。(オブザーバー)</p> <p>●今年度の配置は無かったが、昨年度は教育委員会事務局から生活指導支援員が配置され、スクールサポートルームで支援を行っていた。生活指導支援員であれば、日々こどもたちの変化にあわせた対応や、各学級に入って不登校傾向にあるこどもへ声掛けすることなどもできていたが、区役所の委託事業者ではその辺りが難しいところがあるため、今後、より柔軟な対応ができるような制度になればありがたい。(オブザーバー)</p>
<p>議 題</p>	<p>[主な質問と区の見解] ○:委員、●:区長、オブザーバー</p> <p>【不登校児童生徒への学習等支援の取組みについて】</p> <p>○不登校支援事業について、利用実績はどれぐらいか。また、派遣される講師は何名ぐらい登録されているのか。</p> <p>⇒●登録者数で言えば 60～70 人程度であるが、登録はしているが、実際には利用するところまでいかないこどもも一定数ある。時点によって差があるが、利用しているのは3分の1程度になる。講師の登録人数については把握できていないが、利用申請があれば、希望やこどもの状況に応じて派遣する。利用開始後に相性面などで講師の交代が必要な場合もあるので、余裕をもった人数の登録はされている。(課長)</p> <p>○保護者がこどもに対して、より正確な知識をもった上で寄り添いたいと感じた時、例えば大学の講義や講演会など、大人が学べる機会を紹介してもらえるようなものがあればよいと思う。</p> <p>⇒●放課後デイサービスなどを運営している法人であれば、こどもとの関わり方などについて、保護者向けの講習会などを開催しているところもある。</p> <p>区役所では、こどもの発達などについての相談業務も行っており、講演会などでは質問しにくいですが、一対一であれば聞きやすいという方もおられるので、引き続き相談体制を充実させていきたい。(課長)</p> <p>○大学が開講している授業科目を聴講できる聴講生制度がある。大阪信愛学院大学では、教育学部で、発達障がいのあるこどもへの支援についての授業があるので、体系的に学ばれたい場合は受講いただける。また、信愛教育研究ケアセンターでは、障がいがあるこどもについての個別相談も実施しているので、区役所でも必要があれば紹介いただければ。</p>
<p>その他</p>	<p>[主な質問と区の見解] ○:委員、●:区長、オブザーバー</p> <p>【学校再編整備計画について】</p> <p>○今福小と放出小の統合により、放出中学校下の小学校が 1 校になる。1小1中によるメリットなどを整理していただけたら、より良い放出小学校、放出中学校になると思う。</p> <p>⇒●現在も小中学校の連携に取り組んでいるが、さらにより良いものになるように、検討会議を複数回</p>

	<p>にわたって開催する中で、地域の方からご意見をいただきながら検討を進めていきたい。(課長)</p> <p>○再編整備後の通学路について、放出小学校前の橋は通らないことになっているのか。 ⇒●事故等も発生していると伺っているため、今後安全対策がとられればその限りではない。今福小学校側の道路の幅が狭いといったこともあるので、実際にどの道を通って通学するのがよいかについては、今後の検討会議で話し合っていくことになる。(課長)</p> <p>○現在、今福小学校区域から放出中学校には、橋を渡って通学している。信号の有無もあると思うが、かなり遠回りの経路になっている。小学校だけでなく、中学生にとっても危ないのは同じなので、今後整備してもらいたい。 ⇒●中学校の場合、通学路という考え方はないが、再編整備計画の中で中学校もあわせて検討していく。(課長)</p>
資料	<p>【資料1】 スクールサポートルーム (SSR) の取組み状況について</p> <p>【資料2】 城東区スクールロイヤー事業について</p> <p>【資料3】 小中学生夜間学習会事業「JOTO 塾」について</p> <p>【資料4】 令和6年度城東区教育・子育て支援関係事業一覧</p> <p>【資料5】 JOTOふらっと教室、登校・学習支援事業 利用手法について</p> <p>【資料6】 不登校児童支援事例紹介 (※非公開)</p> <p>【資料7】 学校再編整備計画について</p>